

近畿地方整備局 同時発表

平成29年11月2日  
道路局道路交通管理課

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

## 道の駅「奥永源寺溪流の里」において実証実験をスタート

道の駅「奥永源寺溪流の里」(滋賀県東近江市)において実証  
実験を11月11日(土)から開始します。

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、全国13箇所、順次、実証実験を行うこととしております。

今般、11月11日(土)から11月17日(金)までの間、道の駅「奥永源寺溪流の里」(滋賀県東近江市)において実証実験を実施します。

実証実験の開始にあわせて、11月11日(土)に実験開始式を以下の通り行いますので、お知らせいたします。(概要は添付資料をご確認ください。)

## [実験開始式]

1. 日時 : 平成29年11月11日(土) 12時00分から
2. 会場 : 道の駅「奥永源寺溪流の里」  
(滋賀県東近江市蓼畑町510番地)
3. 主催 : 道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした  
自動運転サービス地域実験協議会
4. 概要 : 挨拶、実験概要説明、実験車両説明、  
テープカット、実験車両試乗 等

※報道機関の方で取材、実験車両への試乗をご希望の方は、11月9日(木)15時までに、

以下まで取材FAX申込書をお送りください。

近畿地方整備局滋賀国道事務所(FAX:077-522-6824 自動運転実証実験担当 宛)

※本実験は、内閣府戦略イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。

## 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課 ITS推進室 馬渡・宮永(内線:37453、37462)  
(代表)TEL:03-5253-8111 (課直通)TEL:03-5253-8484 FAX:03-5253-1617

## 道の駅「奥永源寺溪流の里」自動運転サービス実験開始式概要

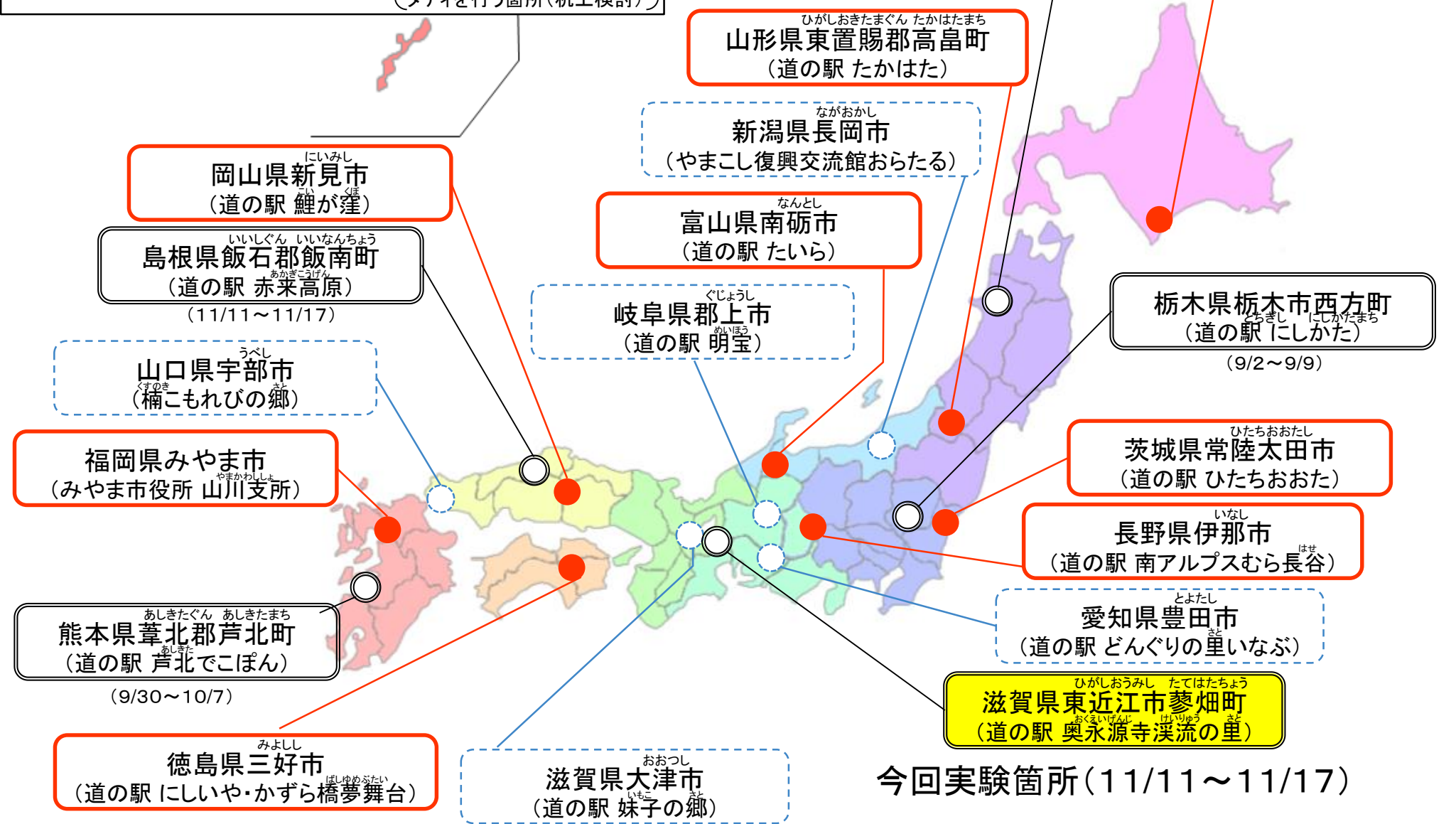
- 1 日時：平成29年11月11日（土） 12：00～13：00  
受付開始 11：30
- 2 場所：道の駅「奥永源寺溪流の里」（滋賀県東近江市蓼畑町510番地）
- 3 主催：道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会
- 4 式典
  - (1) 開式
  - (2) 主催者 挨拶
  - (3) 来賓挨拶
  - (4) 来賓紹介
  - (5) 実験概要説明
  - (6) 記念撮影、テープカット
  - (7) 実験車両説明
    - ①実験車両説明
    - ②実験車試乗

### ■会場位置図



# 平成29年度 実証実験箇所 位置図

○: 地域指定型 (主に技術的な検証を実施する箇所)  
●: 公募型 (主にビジネスモデルを検討する箇所)  
○: FS箇所 (ビジネスモデルの更なる具体化に向けてフィージビリティスタディを行う箇所(机上検討))



今回実験箇所(11/11~11/17)

## バスタイプ

### ①株式会社ディー・エヌ・エー



「レベル4」(専用空間)

「車両自律型」技術

(GPS、IMUにより自車位置を特定し、規定のルート进行 (点群データを事前取得))

定員: 6人(着席)  
(立席含め10名程度)  
速度: 10km/h程度  
(最大:40km/h)

### ②先進モビリティ株式会社 [今回使用]



「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道))

「路車連携型」技術

(GPSと磁気マーカ及びジャイロセンサにより自車位置を特定して、既定のルート进行)

定員: 20人  
速度<sup>※</sup>: 35 km/h 程度  
(最大40 km/h)

## 乗用車タイプ

### ③ヤマハ発動機株式会社



「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道))

「路車連携型」技術

(埋設された電磁誘導線からの磁力を感知して、既定ルート进行)

定員: 7人  
速度: 自動時 ~12km/h 程度  
手動時 20 km/h未滿

### ④アイサンテクノロジー株式会社

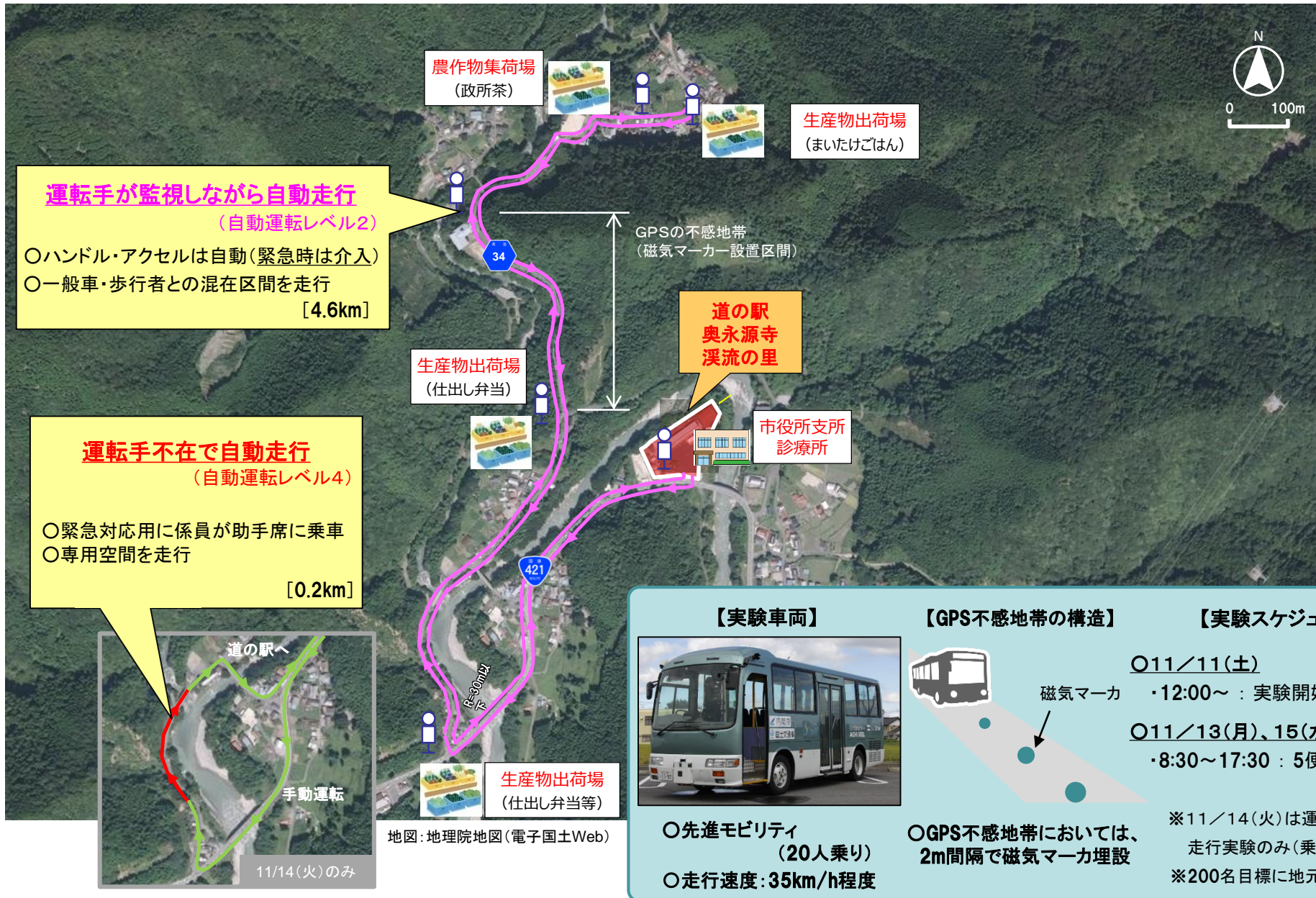


「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道))

「車両自律型」技術

(事前に作製した高精度3次元地図を用い、LiDAR(光を用いたレーダー)で周囲を検知しながら規定ルート进行)

定員: 4人  
速度<sup>※</sup>: 40km/h 程度  
(最大50 km/h)



**運転手が監視しながら自動走行**  
(自動運転レベル2)

- ハンドル・アクセルは自動(緊急時は介入)
- 一般車・歩行者との混在区間を走行

[4.6km]


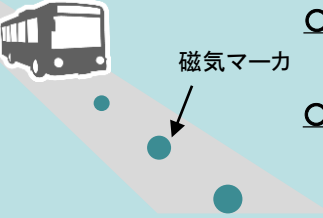
**運転手不在で自動走行**  
(自動運転レベル4)

- 緊急対応用に係員が助手席に乗車
- 専用空間を走行

[0.2km]



地図: 地理院地図(電子国土Web)

【実験車両】	【GPS不感地帯の構造】	【実験スケジュール】
 <ul style="list-style-type: none"> <li>○先進モビリティ (20人乗り)</li> <li>○走行速度: 35km/h程度</li> </ul>	 <p>磁気マーカー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○11/11(土)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>-12:00~: 実験開始式</li> </ul> </li> <li>○11/13(月)、15(水)~17(金)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>-8:30~17:30: 5便又は7便</li> </ul> </li> </ul> <p>※11/14(火)は運転手不在の走行実験のみ(乗客なし)</p> <p>※200名目標に地元モニター募集</p>

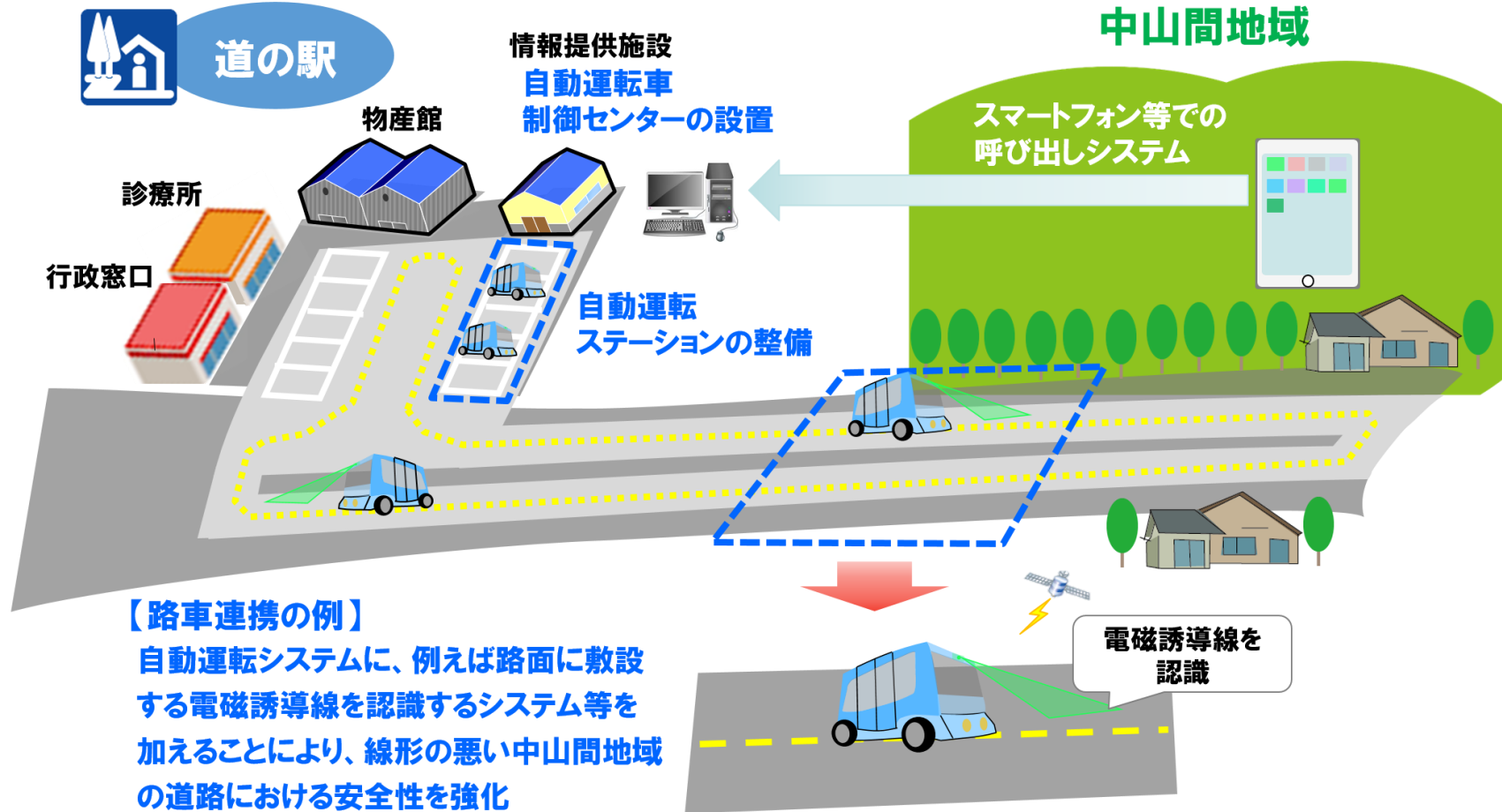
【使用車両】： **先進モビリティ バスタイプ** [混在区間 + 専用区間] ※専用区間は運転手不在(ただし緊急対応用に係員は乗車)

- あらかじめプログラムされたルートで、GPSや路面に埋設した磁気マーカ(GPS不感地帯のみ)により自車の位置を特定し、LIDAR(光を用いたレーザー)により障害物を検知しながら走行。
- プログラムされたルートから外れた場合、又は障害物を検知した場合は走行停止(障害物等の回避は不可)。



項目	実験において検証する項目	
①道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相互に円滑な通行のための道路構造の要件                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・後続車の追い越しを考慮した幅員</li> <li>・待避所、停留所の設置</li> <li>・歩行者・自転車との分離方法</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動運転に必要となる道路の管理水準                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽の繁茂</li> <li>・狭小幅員</li> <li>・路肩駐停車車両</li> </ul> </li> </ul>
②地域環境	○磁気マーカによる自己位置特定の精度	
③コスト	○磁気マーカの整備、維持管理コスト等	○車両の維持管理コスト
④社会受容性	○自動運転技術への信頼性、乗り心地	
⑤地域への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集落⇄道の駅への配送実験                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・集荷場から道の駅への農作物の配送、道の駅への生產品や弁当の配送実験</li> </ul> </li> <li>○高齢者等の外出を促す実験                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所支所への行政手続きや診療所への通院</li> <li>・道の駅での催し物開催により外出を喚起</li> </ul> </li> </ul>	

● 高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



### 【路車連携の例】

自動運転システムに、例えば路面に敷設する電磁誘導線を認識するシステム等を加えることにより、線形の悪い中山間地域の道路における安全性を強化

物流の確保  
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保  
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化  
(観光・働く場の創造等)

全国13箇所で順次実験開始(9/2~)

## 取材 FAX申込書

取材をして頂ける報道関係者は、本紙で事前登録をお願い致します。また、以下の事項に十分留意していただき、行事の円滑な遂行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ◆11月9日(木)15時までに必ず本紙で事前登録をお願い致します。
- ◆当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用して頂きますようお願い致します。
- ◆雨天等により実験車両の試乗走行を行わない場合があります。

近畿地方整備局 滋賀国道事務所 自動運転実証実験担当 宛  
FAX番号:077-522-6824

平成29年11月9日(木) 15時締切

貴社名	
ご参加人数	人 (うち試乗希望 人)
ご担当者氏名	氏 名 所属部署名等
ご連絡先	郵便番号 — 住 所 電話番号 ( ) FAX番号 ( ) E-mail @
車両台数	
車両ナンバー	

※送付状は不要ですので、必要事項を記入のうえ本紙のみをFAXしてください。